

# 豊かさへのたくらみ

佐賀大学公開講座 2012

—最終回—

12/11[火]19:00-20:30

長谷川 照 (佐賀大学前学長)

「九州玄海原発差し止め訴訟裁判の行方」

会場: cafe TRES (佐賀市唐人2-2-14 ギャザータウン 1F)

受講料: 無料 (当日のご参加も可能ですが、40名の定員がございます。事前のご予約をお勧め致します。)

講座終了後に意見交換会を行います。会費は3,000円となっております(飲食代込)。参加をご希望の方は、左記くご予約・お問い合わせ先へまでお申込み下さい。

<ご予約・お問い合わせ先>

佐賀大学 吉岡研究室

0952-28-8274

yoshiota@cc.saga-u.ac.jp

- 2003 I 知の復権をめざして
- 2004 II ポストモダンと「近代の超克」
- 2005 III 境界を生きる文化
- 2006 IV 『ヨーロッパ文化とく日本』を読む
- 2007 V 境界を生きる文化
- 2008 VI 「旅」の文化学
- 2009 VII 陰影(かげ)の文化学
- 2010 VIII 周縁への／からの知
- 2011 IX 世界を編集せよ!

# 知の復権をめざして



佐賀大学 公開講座 2012

# 知の復権をめざして X 豊かさへのたくらみ

## ■本講座「知の復権をめざして」シリーズについて

2003年度より毎年開講を続けてきた本講座「知の復権をめざして」は今回、シリーズ10回目を迎えます。記念すべき節目に当たり、これまでのシリーズ内容を振り返りつつ、これから次の10年を見すえて〈来るべき知〉のあり方を探究する講座をめざします。キーワードは〈豊かさへのたくらみ〉です。

次代に求められる〈来るべき知〉とは、すなわち私たちの「生」（生活＝人生＝生命）に対して物質的・精神的・人格的な〈豊かさ〉をもたらす文化を創成しうるような学知・技法であると、われわれは考えます。その上で、そもそも「生」の〈豊かさ〉とは何か、それはどうすれば達成できるのか？といった問いを設定します。

今回は、こうした問いをめぐる、文学、音楽学、歴史学、国際政治学、法哲学、ジェンダー学、社会学、イメージ創成論など、さまざまな学問領域から多角的・多層的な検討を加えていきます。また、ご参加の皆さんにも積極的なご意見ご批判をいただき、相互討論を行ないたいと思います。

本講座は〈豊かさの知〉を構想する一つのプロジェクト（企て）ですが、しかし、是非ともそれは人をワクワク・ドキドキさせる予感に満ちたものでありたいと思います。ちょうど、いたずらっ子が誰かを驚かそうとしてクスクス笑いを押し殺しながら「びっくり箱」を仕込むときのような——。「たくらみ」という言葉には、そんな「遊び心」を込めました。さて、いったい何が飛び出しますやら？

## ■本講座最終回：長谷川照先生「九州玄海原発差し止め訴訟裁判の行方」について

本講座の最終回では、知の復権シリーズのグランドフィナーレを飾るにふさわしい講師として、佐賀大学前学長である長谷川照先生に「九州玄海原発差し止め訴訟裁判の行方」と題してご講演をいただきます。長谷川先生は目下、九州電力「玄海原子力発電所」の運転停止を求める裁判の大原告団を率いる団長を務めておられます。同訴訟を率いておられるお立場から、原発停止訴訟の経過と、本訴訟の文明史的な意義（本訴訟が問いかけるもの）についてお聴かせいただきます。

原子物理学者である長谷川先生には、核の専門家としての観点から、現下の核（原子力）依存体制の危険性を科学的に解説していただくとともに、より良き未来のために科学者として行動することの重要性（科学者の責任）についてもお話しいただけるものと思います。脱原発／反原発の道筋を探ることは畢竟、近現代の資本主義・科学文明をその根底から問いなおすことであり、われわれの「知」の力を尽くして、次代の新たな「豊かさ」を展望しようとする「たくらみ」であると言えるでしょう。